

## 1 池田 芙美 さん Fumi Ikeda

起

中南勢

特定非営利活動法人 どんぐりの会 (津市)  
理事長

事業所

住所：三重県津市久居小野辺町 984-7

URL：http://www.npo-dongurinokai.org

社員数：9名

業種

学童保育の運営



### Profile

- ・手厚い学童保育で働く親をフルサポート
- ・独自のアイデアで利用料高騰を防ぐ
- ・地域の協賛企業は約 100 社に
- ・夢は医療や塾も一体化した複合保育施設

### 講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他 (学童保育の運営)

### 講演実績

- ・2014年「起業家が語る！成功する企業の秘訣」(特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター)
- ・2016年「子どもたちが安心、安全に暮らせる地域社会の実現に向けて」(津市商工会議所)
- ・2018年「企業と協働のコソ 地域の課題解決にかける経営者の想い」(安城市・安城市民活動センター)

## 「私の使命」

### 働く母は「我慢する」問題を解消する学童保育

広域対応型学童保育『どんぐりの家』を2018年3月に新築移転した池田芙美さん(旧姓:木崎さん)。2004年に3歳の子を連れ離婚した経験が、学童保育の設立に繋がったといいます。「私は就きたい仕事を諦めるしかありませんでした。夜間や土日の預け先がなかったんです。我慢することが沢山ありました」。

だから『どんぐりの家』では、土日や夜間も児童を受け入れます。食事・おやつは、温かい手作りのものを提供し、食育や自然体験のプログラムも用意。2018年からは乳幼児の一時保育や病児サポートも始めました。保護者が安心して働けるよう、仕事中は保護者に代わって子どもたちを育てます。

### “看板”で手厚い保育を企業が応援

学童保育設立を決意した池田さんは、利用料を試算し頭を抱えました。「そんな時、ちょうど道路の“飛び出し看板”(飛び出し注意喚起看板)が目に入りました。それはボロボロに朽ちて、見捨てられていました。電柱みたいに広告を入れたらいいのに」。

池田さんは早速行政に確認の上、看板の設置・維持管理を行うことに。地域の企業に協賛してもらい、その収益を学童保育事業に充て、利用者の負担を軽減。協賛企業は約100社に、設置看板は約350体になりました。企業は社会貢献に加え、社員の福利厚生として『どんぐりの家』を利用できます。このプランは全国商工会議所女性会連合会の第14回『女性起業家大賞』特別賞ほか数々の賞に輝きました。

## 私流リーダーシップ

### 企業のサポートで魅力的な体験授業

『どんぐりの会』を応援する地元企業は、製造業から飲食店、お寺まで多岐にわたります。池田さんは企業とコラボレーションした“体験授業”も展開中。例えば住宅設備メーカー『LIXIL』と共催した出前授業や、地域のトイレ清掃活動、『久居ライオンズクラブ』主催の田植え、稲刈り体験など。「企業と繋がっている事が私達の強みだと思います。子ども達は色々な体験をして大きくなって欲しい」。

特に池田さんが力を入れているのが料理。手づくりの料理を食べて、自分でも料理ができるようになることを目指します。「保護者が『我が子が電子レンジで料理を作ってくれたり、家事を手伝ってくれたりしてビックリした』と感激されていました」。

### “保育複合施設”を目指し社員と挑戦中！

“普通の家庭の子育て”を目指して一軒家を借り、2014年に開始した『どんぐりの家』は、3人の児童預かりからスタート。2018年には58人の登録児童と、一時保育の子どもも連で賑わっています。それに伴い社員を9人に増員。

池田さんは『認定病児保育スペシャリスト』の資格をはじめ、発達支援に関する資格や調理師免許まで率先して取得。「利用者さんに安心してもらいたい。さらに社員に資格取得を呼びかける目的もあります」。池田さんの夢は、「保育園/学童保育/病院/各種習い事が一体となった複合保育施設をつくること！」。シングルマザーで苦労した経験を武器に変え、働く親が嬉しい保育施設を開拓します。

(取材時：2018年8月)

### こんな講演・相談に対応できます

- 子どものあそび発達について
- 子どもの食育について
- 仕事と子育てが両立できる社会づくり
- 企業とコラボした体験教室の開催

### お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課

TEL：059-224-2225

WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは  
こちら

